



令和の幕開け



ユネスコ無形文化遺産「日立風流物」



日立の大煙突



大屋根広場が完成した日立市役所

【P 2】

- 大煙突は日立の金字塔
- パンポンを応援しよう！
- よろしく！令和元年度の百年塾推進委員です

【P 3】

- 魅力ある街は住む人の幸福感
- 地域に世界に広がる学び～百年塾推進園・校が発表～
- 私たちは百年塾を応援します

【P 4】

- 参加者の「ありがとう」を励みに
- よろしく市民教授・まち案内人です！
- 新しい市民教授の登録

祝 日立市が
市制80周年を迎えます

日立市は、昭和14年（1939年）9月1日に市制を施行し、令和元年（2019年）の今年80周年を迎えます。

百年塾フェスタ &
日立市子どもまつり2019

■とき：2019年10月20日（日）
■ところ：日立シビックセンター
新都市広場・マーブル
ホール周辺

大煙突は日立の金字塔

日立市を眼下に望み、百年以上にわたって日立市の発展と公害防止への歴史を見続けている大煙突が、近年再び注目されています。

小説になった日立の大煙突

新田次郎の小説「ある町の高い煙突」が6月14日水戸・筑波で先行ロードショー、6月22日からは全国ロードショーが行われます。

この小説は日立市の大煙突にまつわる実話をもとに、日立鉱山の創業者でもある久原房之助（くはらふさのすけ）と、小説の主人公のモデルとなった入四間村の関右馬充（せきうまのじょう）を中心とする地元の青年たちが、銅の精錬で出る有害な煙から農作物や樹木を守るために苦闘する姿を描いています。



かみね公園にある新田次郎の文学碑

煙害との闘いと解決への道

1905(明治38)年、久原房之助による操業開始から急発展した日立鉱山(旧赤沢銅山)は、その発展に伴い拡大・深刻化する煙害によって地域社会との対立を生みました。

関右馬充は「入四間煙害対策委員長」として鉱山側と補償交渉にあたるとともに、共同で被害調査をするなど解決策に奔走しました。

日立鉱山は、神峰山の山腹を長さ約1,600mにおよんで這い上がる「百足煙道」、政府の命令で内部に6基の卵型の煙突を抱え込んだ「だるま煙突」などを完成させますがいずれも失敗。煙害が激化

し、だるま煙突は「阿呆煙突」とも呼ばれました。

こうした幾多の試練を重ねながら久原は、高い煙突の建設という当時の常識から考えると常識外れのことを唱え建設を断行。1914(大正3)年、当時世界一の高さである「155.7メートルの大煙突」が完成しました。

日立のシンボルに

大煙突の建設と並行して会社側は、枯れた山野を復興するために煙害に強い樹木の研究を粘り強く続け、オオシマザクラや黒松、杉の植林を行いました。大煙突周辺に260万本が植えられたと推測されるこのオオシマザクラが、日立が桜の名所となった原点とされています。

オオシマザクラの苗木がうまく



平和通りの桜並木

育つようになると、ソメイヨシノを接ぎ木して大量の苗木を作り、周辺地域への大規模な無償配布も行ったことで、ソメイヨシノの植樹は日立の各地に広がり、日立市の花に「サクラ」が選定、日本のさくら名所100選に「かみね公園・平和通り」が認定されました。

大煙突は1993(平成5)年2月、約3分の1を残して突然倒壊、市民に衝撃を与えましたが、今も稼働を続け、地域と企業が時には対立しながらも協力して公害防止に取り組んだ「共存共栄」の証として、さくらと共に日立市のシンボルとして長く市民に愛され続けています。

いきいき茨城ゆめ国体2019 いきいき茨城ゆめ大会2019

パンポンを応援しよう！

今年9月から、いよいよ日立市の会場でも「いきいき茨城ゆめ国体・ゆめ大会」が始まります。日立市では正式競技のほかデモンストレーションスポーツとして、8月31日(土)日立市池の川さくらアリーナでパンポンの競技が開催されます。全国にパンポンをもっと知つてもらうために、みんなで応援や参加をしたいですね。

パンポンはどんなスポーツ？

「パンポン」は、卓球とテニスをミックスしたようなスポーツで、軟式テニスボールを木製のラケットで打ち合うスポーツです。

なぜパンポン？

「パン」と打って「ポン」と弾むから『パンポン』です。



始まったのはいつ？

大正10年頃、株式会社日立製作所で始められました。



ラケット
&
ボール

よろしく！令和元年度の百年塾推進委員です

(◎:部会長、○:副部会長)

【本部長】中山俊恵

【副本部長】窪田康徳 清水透 澤俊子 西内博 柴田百恵 水出浩司

【会計監事】國井茂 柴田彪

【情報部会】◎対馬幸悦○木下隆○平井幹男 ○北見隆 ○山口哲司

愛場康博 荒岡学 尾沼信義 小野むつ子 黒澤秀子 鈴木吉一 武士昇湯浅和博 渡邊弘幸

【ネットワーク部会】◎船渡川俊○和田克夫○佐藤信次 小田切亘 小野むつ子 鴨志田睦美 栗原由紀子 斎藤久夫 佐藤禮子 豊田達哉 西山

光江 畑谷和代 初鳥小百合 堀三千男
【人財部会】◎西原功○木村邦男○菊池庸子○門馬正和 阿部和宏 荒蒔義春 安藤壽 上野とき子 鹿野和夫 桐上悦子 小松弘二 小森一郎 佐川百百子 笹川孝雄 澤俊子 沢畠登美江 多田行雄 龍田郁子 田村久 高木正興 塚本裕宥 野崎一 長谷川孝

魅力ある街は住んでいる人の幸福感 山田五郎さんが見た日立の魅力

「魅力ある街ってどんな街？」と題した講演会が、3月23日、日立シビックセンター音楽ホールで開催されました。この講演会は、ひたち生き生き百年塾創立30周年を記念し、テレビなどでおなじみの編集者・評論家の山田五郎さんを講師に迎えてのものです。

講演では、山田さんならではの視点とユーモアあふれる語り口で



日立を元気にしてくれた山田さん

実例を挙げながらまちづくりのポイントを示し会場を沸かせました。

山田さんは、

■魅力あるまちとは人気があることではなく、住んでいる人が満

- 足できて幸せを感じるまち
- 観光化がまちの発展になるとは限らず弊害ももたらす
- まちの個性を生かして量より質を高める
- 市民が当たり前と思っている所に魅力がある
- と語り、日立の魅力として、
- きれいな海、山などの恵まれた自然がある
- 桜の名所がたくさんある
- 新鮮な食材が豊富
- ＩＴをはじめ、時代の先端を行く技術を誇れるまち
- 大煙突は日立の歴史的財産などを挙げる一方、PR不足も指摘。日立が持つ良さを最大限に活かすヒントや可能性を示されました。なかでも山田さんは大煙突の価値を賞賛し、日立のシンボルとして展望タワーなどにリニューアルするアイデアや、日立市が自然環境を含めて歴史的価値のあるも

のと、最新の技術などを併せ持つ稀有なまちであることを誇りとしてまちづくりに繋げることなどを提案して、講演を締め括りました。

参加の人たちからは、「日立を再認識した、希望を与えてもらった、まちづくりに対する考え方が変わった、市民も行政もみんなで聴きたい内容だった」など数々の熱のこもった声が寄せられました。百年塾として市民として何を成すべきか、改めて認識と課題をいただいた講演でした。



明秀学園高校のウェルカム演奏

私たちは百年塾運動を応援します
2019.4.22～2019.5.20（敬称略）

【個人】木村邦男 高山セツ子 柴田彪 児玉裕文 國府田ヒロ子 佐藤福次郎 山元隆 斎藤隆子 対馬幸悦 尾沼信義 平井幹男 大越典一 佐藤朝勝 平井強

地域に世界に広がる学び

～百年塾推進園・校が活動の成果を発表～

百年塾活動を推進する幼稚園と小・中学校が、1年間の取り組みの成果や課題等を発表する報告会が、2月に行われました。

2018年度を締めくくる報告会は初めてシビックセンター多用途ホールで開催し、会場には子どもたちや先生をはじめ、家族で来場する姿がみられました。

会瀬・田尻の2幼稚園、会瀬・河原子・金沢・久慈の4小学校、平沢・泉丘・十王の3中学校が、

それぞれのテーマに沿って活動を行った様子を、幼稚園は先生方が、小・中学校は児童生徒がパネル展示やプロジェクトを使って発表



機器の操作もなかなかのもの

をしました。

報告を通して、子どもたちが地域の中で学び育ち、さらには外国人の人たちとの交流を通して世界に視野を広げていく様子などが生き生きと伝えられ、成長の跡が窺えました。「孫の発表を楽しみにきました」という祖父母世代もいて、子どもたちの堂々とした発表に感心する事しきりでした。

今年度も、中小路・水木の幼稚園、滑川・成沢・塙山・坂本の小学校、駒王・台原・坂本の中学校が推進園・校としてさまざまな活動に取り組みます。

疋田節子 蝶田三雄 福士邦彦 前田潤子 皆川直司 矢代克己 柳内呈留摩 渡部八郎 割貝晃

【学校部会】◎今村温○飯田宏〇豊田ハマ〇神永敏光〇折笠良平天野高志 伊藤喜美子 小佐野勝春國府田ヒロ子 児玉裕文 佐々木洋佐藤朝勝 柴田彪 柴田百恵 高山セ

ツ子 田所義明 塚本裕宥 塚本久美子 根本弘道 山田教 中小路幼稚園水木幼稚園 滑川小学校 成沢小学校 塙山小学校 坂本小学校 駒王中学校 台原中学校 坂本中学校

【産業部会】◎高口定雄○渡部正敏〇長谷川修平 石塙猛 小薗秀一小薗江政勝 面川雄司 小澤聰子 梶

山明子 柏木仁男 神永敏光 川上光彦 川崎洋子 小林れい子 斎藤隆子 佐藤純子 佐藤恵理子 佐藤福次郎 柴田百恵 立花郁雄 西内博 沼田充弘 平井強 別所泰典 三澤泰美水出浩司 森秀男 山崎猛夫 山元隆吉原信明

日立のまち案内人

参加者の「ありがとう」を励みに

新緑が目に鮮やかな、まち歩きに絶好の季節となりました。百年塾では日立のまち案内人の活動が活発になっています。特にここ数年は、パワースポットとしての御岩神社の人気の高まり、「ある町の高い煙突」の映画化や6月からのロードショー公開もあり、ゆかりの場所などを訪ねる人も増えています。

4月から5月にかけて行われた御岩神社の案内では、春の「回向祭」やゴールデンウィークも重なったことから大変な賑わいで、案内のみならず、駐車場の確保など

大忙でした。また季節がら御岩神社周辺は花盛り。参加の人たちは、植物への関心をはじめいろいろな質問があり、案内人として幅広い知識の習得や様々な場面での対応など、さらなる勉強の必要性を感じて研修を重ねています。



御岩神社の植物

案内を終えた時の、参加の人たちからの「ありがとう」の言葉を何よりの励みとして、今日も元気にまち案内に出かけます。

戦争犠牲者をしのび

戦災遺跡を巡る

- 6月10日(月)9:00～12:45
- 小平記念館、爆弾跡、防空壕跡、相賀町萬靈塔など
- 無料、定員20名
- 申し込み ☎23-9165
百年塾サロンまで

市民教授登録（敬称略）

2019.2月～3月に登録の方

■佐川修平／会瀬町
(健康なカラダ作り)

■青木昌隆／高鈴町
(教育全般・総合教育)

■大高明子／石名坂町
(カルトナージュ)

■片桐幹世／会瀬町
(コアパワーヨガC P Y®)

よろしく 市民教授・まち案内人です！

健康の秘訣は体と心のバランス

大川貴世美さん（健康体操）



小さい頃から体を動かす事が好きだった大川さん。フィットネスクラブに入社後、様々なインストラクターの資格と経験を身につけ、現在は独立して起業家となっています。

子どもからお年寄りまで、皆が健康に過ごすために簡単な運動で筋肉と骨格、さらには自立神經のバランスを整えるバランスコーディネート、脳の活性化を図るシナプソロジーなどに取り組んでいます。また、インストラクターの教育と資格認定をする数少ない教育トレーナーでもあり、他県での養成講座にも出張するなど、忙しい毎日を送っています。家に帰れば、2人の子どもの時間を大切にする優しいお母さんです。

将来の夢は、地域のグループやコミュニティなどを活用して健康運動を普及させ医療に頼らない社会を作り上げること。百年塾や幼稚園、小学校での講演や自主サークルでの指導もしています。皆さんも健康のために参加されてはいかがですか。

健康アドバイスから美化運動も

山元 隆さん（臨床検査解説・禁煙塾）



日立総合病院の臨床検査技師として活躍される山元さん。健康に関して長年培ってきた経験が役に立てばと、3年前に市民教授に登録しました。電話での相談のほか、教育プラザや日立保健所で講座を開き、臨床検査項目や結果の見方について、わかりやすく解説しています。

百年塾フェスタなどイベントでは、ポスターを展示してタバコの害についての解説や禁煙を呼び掛けています。タバコのポイ捨ては環境問題にも悪影響を及ぼすため、最初は吸い殻拾いから始まり、今はまちの美化運動にも積極的に取り組み、仲間を募って日立の海岸の清掃のボランティア活動も行っています。また、「大好き地球環境問題研究所」代表として、日立の活性化を目指す「日立ぎんざもーる元気up協議会事務局幹事」「Open mind cafe COPO Master」など幅広く活動中です。

何かをするには健康な身体が第一。そのためには定期的に健康診断を受けたり、検査項目に关心を深めてほしいと願っています。

■百年塾サロン(窓口)では 以下の業務を行っています

- 百年塾推進委員登録の受付
- 市民教授の登録、紹介
- 講座・講演の受付
- 生涯学習に関する相談

■ひたち生き生き百年塾推進本部

百年塾サロン(日立市教育プラザ1F) 〒317-0064 日立市神峰町1-6-11

☎0294(23)9165 FAX 24-5200

E-mail iki100j@net1.jway.ne.jp

ホームページ <http://www.net1.jway.ne.jp/iki100j/>

【事務局】日立市教育委員会 生涯学習課

〒317-8601 日立市助川町1-1-1 ☎050-5528-5126

